



教育ボランティア通信 No. 47



R4 前期教育ボランティアガイダンスが開催されました！

4月20日にN-11、N-12の教室にて前期教育ボランティアガイダンスが開催されました。今回のガイダンスは例年と比べ非常に多くの学生が参加してくれました。特に1年生の参加者が多く、不安をなくし希望を持ってボランティアに臨めるように、先生方からとても丁寧な説明がなされました。学生の皆さんもそれに応えるように集中して話を聞いていて、教育現場に携わることへの意欲が感じられました。



＜教育ボランティア委員長から＞

小池先生からは、「コロナ禍で実習が思うようにできない中、このボランティアの機会を大切にしてもらいたい」という話がありました。また、古屋学部長からのメッセージとして、教育ボランティアを行う意義を伝えてくださいました。① 子どもが何を考え何に興味を持ち何に消極的になるのかを知る ② 子どもが何につまずくのか理解の過程を知る ③ 子どもとの距離感を知る ④ 子どもの文化や流行りを知る 教育における大切なことがまとめられていると思います。

＜学生運営委員会委員長から＞

小池先生の話を受けて、宮島委員長は「まずコロナ禍でも私たちを受け入れてくれる学校があること、そしてそれは私たちの先輩が受け入れ先との信頼関係を築き、多くの先生方が十分な支援体制をつくってくれているからであるということを理解してほしい」とボランティアを行うにあたりとても大切なことを話してくださいました。この気持ちを私たち学生は絶対に忘れずに、教育ボランティアに臨みましょう。



他には、地域学習アシスト事業やボランティア活動の概略、留意事項、事務手続きについて説明が行われました。**地域学習アシスト事業**とは山梨大学独自のもので、現職の先生、大学の先生、大学院の学生と協力しながら、クラスの課題に取り組める活動です。「教育現場に携わってみたいけど分からないことだらけ」「活動への勇気が出ない」など教育活動を行うことに迷っている方、ぜひガイダンスに参加してみてください。また教職支援室の先生方や学生運営委員にも尋ねてみてください。お力になります!!!